

会 議 録

<開催日>平成19年5月21日(月)

<時 間>10:00~12:00

<場 所>職員会館 大会議室

報告者

陣 川

<名 称> 平成19年度第1回岸和田市協働のまちづくり推進委員会

<出席者> ○は出席、■は欠席

岸和田市協働のまちづくり推進委員会委員

松端	望月	室田	泉本	田中	昼馬	稲富	中川	和田	上野	泉原	小西	池田	白木	金寄
○	○	○	○	○	○	○	○	■	○	○	■	■	○	○

事務局) 西川課長、森口参事、松阪、陣川

<議題>

- ・ 自己紹介(新委員の選出による)
- ・ 今年度の実施予定事業について
- ・ (仮)NPO法人意見交換会について
- ・ その他

<概要>

●新委員の紹介も兼ねた自己紹介

- 新委員:

新委員	旧委員
田中 薫(社会福祉協議会)	三井 康男より変更
稲富 信子(ボランティア連絡会)	立石 房子より変更

事務局: 森口参事(協働推進スタッフ)

●今年度の実施予定事業について。19年度重点目標と19年度スケジュール(松阪より)

- 引き続き、情報発信に力を入れていく。具体的には、
 - ①協働推進チームでホームページ等の情報発信方法を検討。
 - ②企画課協働推進スタッフでボランティア情報の窓口機能を担う。今までは各課でボランティア情報を扱っていたが、窓口を一括にする方が市民に分かりやすいため。
 - ③協働の意識啓発を図るための職員研修会(ファシリテーター養成講座等)・市民講座(団塊シニア世代地域デビュー応援講座)を開催。
 - ※【ファシリテーター】会議の場などで、議論の内容に対して中立な立場にたち、話し合いの流れに介入して発言を促したり、話の流れを整理したり、参加者の認識の一致を確認したりする行為で介入し、合意形成へと組織を活性化(協働を促進)させる手法・技術・行為を行う者。
- 市民間とのネットワークの構築を図る。詳しくは次の案件「(仮)NPO法人意見交換会」にて。
- 協働推進チームを少数希望制で募集し、「情報発信システム」の検討・導入を図る。現在6名が応募。

●今年度の実施予定事業について意見交換

(委員)

情報発信について。ホームページに泉州ジョリーFM (FM82.6、貝塚コミュニティ放送) を掲載して欲しい。このラジオ放送のエリアは貝塚、岸和田、忠岡の限られた地域ではあるが、濃厚なまちづくり情報を発信している。ラジオによる情報発信の影響力は大きいと思われる。

(委員)

職員研修を地道にやっていて率直な感想は？

(事務局)

研修に主体的に参加した職員には徐々にではあるが協働の意識啓発ができていると感じる。課題は参加しない職員に対してどのような手段で協働の意識啓発をするかと、研修を受講した職員に次のステップとしてどのような手段で協働に関わってもらおうかである。

(委員)

協働の意識を訴える内容の研修より、事務処理等職員の得意分野をいかに協働に使っていくかの実務的な研修の方がより効果的と考える。また、岸和田に不足している中間支援組織の教育にももう少し力を入れて欲しい。

(委員)

そのとおりである。実際、市民は動くのが精一杯で事務処理のスキルや時間が不足しているのが現状である。動くのは市民がやるので、行政は事務処理面で支援して欲しい。

(事務局)

市民と行政との協働の最終目標は市民のニーズに行政が支援・協力する形である。今後、事務処理等を支援できる職員を育てる研修を行っていきたい。

●(仮) NPO法人意見交換会の開催について(松阪より)

- 今までNPO法人同士の意見交換の機会がなかった。また、行政も市内のNPO法人の詳細な情報を把握できていない。このような現状から、NPO法人を召集しての意見交換・交流の場「(仮) NPO法人意見交換会」を開催したいと考えている。本日は開催するにあたり、意見を伺いたい。

●(仮) NPO法人意見交換会の開催について意見交換

(会長)

NPO法人の認証は市を介さず大阪府が行っているため、市はNPOの存在を知ってはいるが、そこがどんな活動をしているか等の詳細な情報までは把握していない。NPOはローカルなレベルで活動しているところが多いので、市としても協働のパートナーであるNPOの詳細を把握し、交流していきたいという趣旨でよい。

(事務局)

そうである。

(委員)

意見交換会の開催に大賛成である。

(委員)

NPO法人同士、特に異業種のNPO法人との交流はない。意見交換会を開催するには今がちょうど良い時期。

(会長)

ボランティア連絡会にはNPO法人は入っているか？

(委員)

NPO法人は入っていない。ボランティア連絡会は26団体で構成。年4回の定例会を開催。

(会長)

事務局側の意見交換会のイメージは？集まる頻度など。

(事務局)

NPO法人意見交換会を立ち上げて、集まって何をするのか（目的・趣旨など）を心配している。

(会長)

確かに、何のために集まるのか目的をはっきりさせるべき。

(委員)

行政は最初の集まるきっかけづくりを担ってくれば良い。集まりさえすれば、NPOが自分たちで運営すると思う。

(委員)

NPO法人・ボランティア等市民活動団体同士でネットワークを作るのに、行政は欠かせない存在である。

協働というなら行政にはボランティアの存在をもっと知って欲しい。

ボランティア連絡会の役割は社協と各ボランティア団体との橋渡し。

昨年、災害ボランティア検討部会を立ち上げた。災害が起こったときに、自分たちは何をするかというのを検討しているところである。

(会長)

市民活動団体はネットワークを作りたいと思っても日々の活動が忙しく、そこまで手が回らない状態である。

NPO法人意見交換会を立ち上げるに当たって、しばらくは行政が事務局として音頭を取りながらやるのか、呼びかけだけは行政が行い、運営はNPOにまかすのか。

(委員)

集まる場が欲しいのはNPO法人で意見一致している。しかしNPOは公民館や市民センターを借りることができない。まちネット（まちづくりネットワーク岸和田）のように公民館や社協などのスペース確保を行政が担って欲しい。行政に一番支援して欲しいのは場所の確保である。

(副会長)

そのとおりである。協働で一番大切なのは、スペース確保の協力である。

(委員)

公民館は生涯学習、総合福祉センターは社会福祉法にのっとった施設、という目的を持った施設なので、部屋の使用には制約がある。公民館を借りたいという希望は理解できるが公民館の立場もご理解願いたい。

(委員)

スペースを眠らせておくより活用の方が意義があると思う。空いているスペースはどんどん活用して欲しい。

(会長)

寝屋川の市民活動サポートセンターは民間の「あいの会」という組織が市の委託金で建物管理、運営を行っている。

(委員)

寝屋川の市民活動サポートセンターは、現在は違う運営方法に変わっている。

府内で市民活動サポートセンターはいくつかあるが、それぞれ運営が大変なようである。
センターを使用する人が議論して、どう運営していくか決めると良いと思う。そういう意味で意見交換会の開催は有効である。

しかし、意見交換会の参加者をNPO法人に限定するのはどうなのか。また、意見交換会の中で開催目的を明確にしておくとは有意義な意見交換会となる。

(委員)

本当のNPOというのは地域密着で活動している団体である。集まるのは法人だけに限定しなくて良いと思う。

(事務局)

参加者をNPOに限定する方が良いか、枠を広げる方が良いか迷いがあるが、とりあえず最初の立ち上げはNPO法人だけに限定しておいて、徐々に枠を広げていこうと考えている。その点についても意見交換会で議論していきたいと考えている。

(委員)

近畿水の塾は5月に大阪市内に事務所移転した。水の塾は中間支援的組織で、大阪府内の行政や大学の先生とネットワークを持っているので講演会開催時の場所の確保等役所とうまく連携が取れている。

意見交換会を開催するなら何らかの成果を上げたい。NPO法人だけでなく、法人格を取得していない団体も参加可にする方が良いと思う。また、行政からは「市民の希望に添うようにするのが我々の仕事である」という考えの職員に意見交換会に参加して欲しい。

(委員)

NPO法人神於山保全くらぶと泉州人で活動している。神於山保全くらぶは今年4月に認証を受けたばかり。活動内容は法人格取得前と変わらず。市役所の環境保全課と連携している。活動場所は神於山と有真香会館。会議はその会館で行っており、場所の確保は出来ている状態。一方、泉州人の方は場所の確保で困っている状態。なんとかしたい。

(会長)

意見交換会を開催すると、①それぞれの団体の課題の確認が出来る。②NPO法人同士のアドバイス・実務のサポートを行える。③NPO法人同士が連携しての新たなプロジェクトを考えるきっかけとなる。などの利点がある。

開催にあたり、行政はNPOの要望にすぐに応答してサポートすることが大切である。

<意見交換会開催曜日・時間帯> 平日・晩で調整

●その他

(委員)

きしわだ社協だより、小地域ネットワーク活動、ボランティアグループ一覧表、ボランティアだより、18年度ボランティア連絡会活動報告、ボランティアサロン開催のお知らせの冊子紹介

(委員)

第2回ボランティアサロンを6月16日(土)に開催。是非来てください。

(委員)

女性会議の冊子紹介

(副会長)

平成19年度の市民フェスティバル、ごみゼロ作戦へのご協力ありがとうございました。

焼却ごみ 18 年度 6 t⇒19 年度 8 t で 2 t 増となり残念な結果だった。

(事務局)

団塊・シニア世代の地域デビュー応援講座として「第 2 回お父さんお帰りなさいパーティー!!」を 6 月 9 日(土)に開催。団塊・シニア世代へ地域活動に踏み出すきっかけとなる情報を提供したい。

(事務局)

協働のまちづくり推進委員会の委員の任期が平成 19 年 10 月で満了となるが、年度末の平成 20 年 3 月まで延長をお願いしたい。

<今後の委員会開催日程>

8 月 20 日(月) 10:00~12:00

10 月 15 日(月) 10:00~12:00

2 月 18 日(月) 10:00~12:00

委員の皆様、よろしくお願いいたします。

●訃報：正ヶ峯晴美さん(公募委員)が亡くなりました。謹んでお悔やみ申し上げます。